

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教 員 氏 名	
水口 剛 先生	おすすめメッセージ
① 図書名：庭の話 著 者：宇野常寛 出版社：講談社 ISBN：9784065377918	「世界は今、「どこでも」生きていくことができる Anywhere な人々と「どこかで」しか生きられない Somewhere な人々に二分されている」。 「Somewhere な人々はインターネット上のプラットフォームで、『同じ敵に石を投げるあなたは私の味方である』という相互承認のゲームの中毒に陥いる」など、きわめて刺激的な言葉が並ぶ。一方でグローバル資本主義への対抗として共同体の復権を主張する左派的な言説を、「醤油が切れたらご近所から貸してもらえることより、コンビニに 100 円を持って行けば 100 円の醤油が買える社会こそ正義だ」と切って捨て、「共同体への回帰は強者たちによる傲慢な主張だ」とまで言う。難しい本である。正直、全部理解できるわけではない。それでも、簡単には読めないこんな本を、たまには読んでみるのも良いのではないか。
② 図書名：「良い投資」とβアクティビズム ～ MPT 現代ポートフォリオ理論を超えて 著 者：ジョン・ルコムニク／ジェームズ・ホーリー 出版社：日本経済新聞出版社 ISBN：9784296115402	パッシブ運用なら市場平均リターンを狙う。アクティブ運用なら市場平均を超えるアルファを追求する。それが今のファイナンス理論の常識だ。その暗黙の前提となっているのは、市場平均は所与、つまりコントロールできないという通念である。だが、実際には投資行動がもつ外部性が環境や社会にシステムレベルのリスクをもたらし、市場平均に影響する。そのことを明示的に考慮して行動するのがβアクティビズムである。いわば資本主義の論理を変えることで資本主義の方向転換を模索する理論的なチャレンジだ。資本主義の弊害を言い立てて資本主義を否定するのは、一見、威勢が良いが、現実的な解決になりにくい。資本主義を中から変える論理に注目したい。